

2007年9月11日

インドにおける中大型バスの本格的な生産・販売を開始

いすゞ自動車株式会社（本社：東京都品川区、社長：細井行、以下 いすゞ）は、本年9月より、インドにおいて、長距離移動及び観光用の中大型バスの本格的な生産を行い、いすゞバッチでの販売を開始することと致しました。

この度、インドにおいて生産・販売するバス（LT134）は、230馬力の40～45人乗りの中大型バス。いすゞから下部結構（シャシ）を輸出し、現地のスワラジマツダ社でボディ架装を行って完成させ、いすゞブランドにてインド国内で販売致します。また、今回の中大型バス（LT）に引き続き、小型トラック（エルフ）をベースとした、20～25人乗りの小型バス（NQR）も、今年末から来年を目処に生産・販売を開始する予定しております。

現在のインド市場におけるバスの需要は年間約5万台規模で、今後も増加すると予想しております。その中で、いすゞバスの販売台数は、初年度(2008年)でLTが年間400台、NQRが500台で、2012年にはそれぞれ1,000台、5,000台を見込んでおります。

尚、この度のいすゞバスの本格的な生産・販売を開始するために、スワラジマツダ社では、本社工場の増設など大規模な生産能力の増強を行いました。

以上